

ハタ類生産施設の概要

養殖推進室 主任 中島 兼太郎

新たな養殖対象魚として期待されているマハタ・クエの種苗（稚魚）を安定的に量産するために、平成 19 および 20 年度電源立地地域対策交付金事業によりハタ類生産施設を新設しています。



施設の外観（平成 21 年 1 月現在）



電解殺菌装置（20 トン／時間）



100 トン円形コンクリート水槽



照明設備

整備概要

- 19 年度：照明設備を備えた 100t 水槽 1 基
電解殺菌装置、加温装置
加温水供給装置、ブロアーなど
- 20 年度：同様の 100t 水槽 1 基、冷却装置
循環システム、餌料培養室など



マハタ成魚（全長 50 cm）

平成 21 年 1 月現在、20 年度工事を実施しています。